

秋のオープンキャンパス「受験」「進路」…不安と期待胸に 高校生・父母2340人が訪問



鳳祭期間中の11月2、3の両日、「秋のオープンキャンパス」が生田キャンパスで開催され、高校生、父母ら2340人が来学。教職員と在学生による個別相談、模擬授業、キャンパスツアーなどを体験した。

メイン会場となる120年記念館アトリウムは、資料を手に個別相談を待つ参加者でにぎわった。模擬授業は堀江洋文経済学部教授(両日)、岡田隆文学部助教授(2日)、高田夏子文学部助教授(3日)を講師に講義が行われ、教室はいずれも満

席。キャンパスツアーでは情報科学センター、図書館、総合体育館、心理学実験室(3日のみ)を訪れ、参加者は興味深そうに見学していた。

個別相談を担当した商学部2年次生は「どんな受験勉強をしたら良いのか、将来の進路がまだ決まっていないのに大学受験を迎えて大丈夫だろうかーなどの質問を受けました。受験生も父母の方も、たいへん熱心な様子でした」と話していた。

(写真・120年記念館アトリウムでの個別相談風景)

[11月15日/ニュース専修3面]